

第3期本庄市地域福祉活動計画

(ふくしの杜ほんじょうプラン 21)

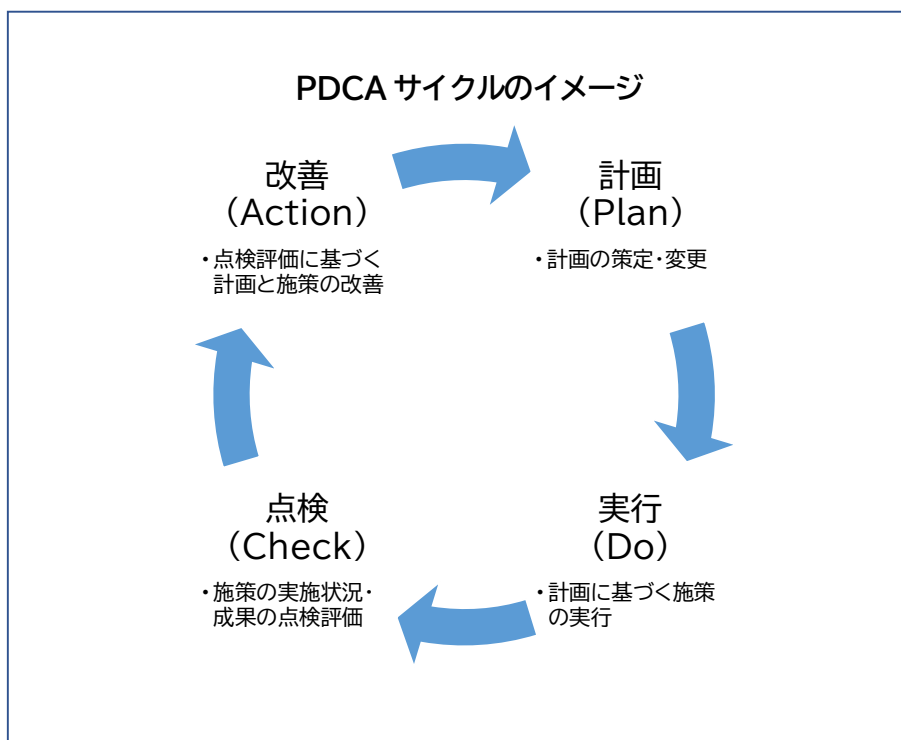
進捗管理シート
(令和6年度実施結果)
(令和7年度の実施方針)

社会福祉法人本庄市社会福祉協議会

■第3期本庄市地域福祉活動計画 令和6年度の進捗管理・評価

1. 計画の進行管理

第3期本庄市地域福祉活動計画に記載された事業・取組について、PDCAサイクルによる適切な進行管理を行います。



2. 評価方法

進捗状況の評価については、年度内の取組に関して、以下の3段階に基づき、社会福祉協議会事務局各係としての視点による評価を行ったあと、本庄市地域福祉活動計画社協内ワーキンググループで各事業の取組内容及び成果等を検証し、評価の査定を行います。

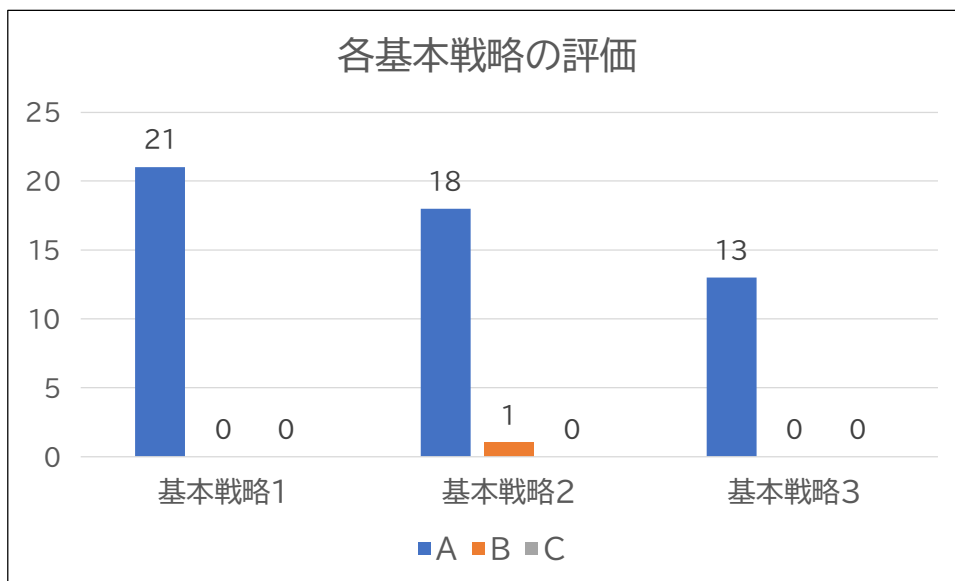
A	取組方針のとおり取組を進め、計画推進に向け順調に進んでいる。
B	取組方針に沿って取組を進め、計画推進に向け概ね順調に進んだが、不十分な点がある。
C	取組方針に沿って、計画推進に向けた取組を進めることができなかった。

3. 評価結果

令和6年度中の各取組に関し、2の評価方法に基づき評価した結果は次のとおりです。

なお、各取組における具体的な取り組み内容等については、「第3期本庄市地域福祉活動計画 進捗管理シート」をご参照ください。

区分	係による評価	構成割合(%)
A 取組方針のとおり取組を進め、計画推進に向け順調に進んでいる。	52	98.1%
B 取組方針に沿って取組を進め、計画推進に向け概ね順調に進んだが、不十分な点がある。	1	1.9%
C 取組方針に沿って、計画推進に向けた取組を進めることができなかった。	0	0%
合計	53	100%



■第3期本庄市地域福祉活動計画 取組・実施主体一覧表

基本戦略	施策細目	取組名称	実施主体	頁
1 市民の生活を支える仕組みづくり	(1)相談支援の仕組みづくり	① 各種相談窓口の設置	本庄市社協 本庄市	9
		② 相談窓口の周知及び多チャンネル化の検討	本庄市社協 本庄市	10
		③ 相談員等の確保及び担当職員の資質向上	本庄市社協 本庄市	
		④ ふくしPRコーナーの設置	本庄市社協	11
		⑤ コミュニティソーシャルワークの推進	本庄市社協 本庄市	
	(2)福祉サービスの充実	① ほんじょう助け合いサービス	本庄市社協	12
		② ファミリー・サポート・センター事業	本庄市社協 本庄市	13
		③ 生活支援体制整備事業における支援の検討	本庄市社協 本庄市	
		④ 社協会員(会費)募集	本庄市社協	14
		⑤ 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動	共同募金会 (本庄市社協)	
	(3)横断的なサービスづくり	① 彩の国あんしんセーフティネット事業	本庄市社協 社会福祉法人	15
		② フードバンク事業	本庄市社協 地域団体	16
		③ フードパントリー事業	本庄市社協 地域団体	
		④ 支援団体等の相互連携の強化	本庄市社協 地域団体	17
		⑤ SAITAMA出会いサポートセンター本庄の運営	本庄市社協 本庄市 埼玉県	
	(4)人にやさしい生活環境の充実	① 心のバリアフリー教育の推進	本庄市社協	18
		② 社協だより等のユニバーサルデザイン対応	本庄市社協	19
		③ 障害に対する理解の促進と意思疎通支援の推進	本庄市社協 本庄市 地域団体	

■第3期本庄市地域福祉活動計画 取組・実施主体一覧表

基本戦略	施策細目	取組名称	実施主体	頁
1 市民の生活を支える仕組みづくり	(4)人にやさしい生活環境の充実	④ 福祉教育推進事業	本庄市社協 学校	20
		⑤ ふれ愛祭・障がい者作品展等の開催	本庄市社協 地域団体	
		⑥ 車いす・福祉車両の貸出し	本庄市社協	21
2 地域におけるつながりの強化	(1)地域人材の確保・育成	① ボランティアセンターの運営	本庄市社協	25
		② 各種ボランティア・生活支援サポーター養成講座等の開催	本庄市社協 本庄市	26
		③ 本庄市ボランティアグループ連絡会	地域団体	
		④ ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険	本庄市社協	27
	(2)専門職・支援関係者の育成と支援	① ケアマネ会議・介護支援専門員連絡会の定期的な開催	本庄市 関係機関	28
		② 高齢者の便利ガイド等の活用	本庄市社協 本庄市	29
		③ 地域の高齢者等への福祉情報の発信	本庄市社協 関係機関	
		④ 高齢者世帯等安否確認事業	本庄市社協 民児協	30
	(3)関係機関・団体等との連携強化	① 地域ケア会議・支援調整会議への参加	本庄市社協 本庄市 関係機関	31
		② 彩の国あんしんセーフティネット事業【再掲】	本庄市社協 社会福祉法人	32
		③ 社会福祉法人連絡会(仮称)の開催に向けた検討	本庄市社協 社会福祉法人	
	(4)福祉学習の充実	① 福祉教育推進事業【再掲】	本庄市社協 学校	33
		② 夏のボランティア体験プログラム	本庄市社協	34
	(5)小地域における福祉活動の推進	① 高齢者世帯等安否確認事業【再掲】	本庄市社協 民児協	35
		② ふれあいいきいきサロン等の設置推進	本庄市社協	36

■第3期本庄市地域福祉活動計画 取組・実施主体一覧表

基本戦略	施策細目	取組名称	実施主体	頁
2 地域におけるつながりの強化	(5)小地域における福祉活動の推進	③ ラジオ体操普及促進事業	本庄市社協	36
		④ 地域別小地域福祉活動の推進	本庄市社協 本庄市	37
		⑤ 住民主体の支え合い活動の推進	本庄市社協 本庄市	
		⑥ コミュニティソーシャルワークの推進【再掲】	本庄市社協 本庄市	38
3 安心して暮らせる地域づくり	(1)地域における安心の創出	① 災害ボランティアセンター運営訓練の実施	本庄市社協	41
		② 災害ボランティアの養成	本庄市社協	42
		③ 災害時の相談支援体制の確立	本庄市社協 本庄市	
	(2)権利擁護の推進	① 成年後見サポートセンターによる相談支援等	本庄市社協 本庄市	43
		② 福祉サービス利用援助事業(あんサポ)	本庄市社協 埼玉県社協	44
		③ 認知症サポーター養成講座の開催	本庄市社協 本庄市 関係機関	
		④ オレンジカフェ・ケアラズカフェ・家族会等の開催	本庄市社協 本庄市 地域団体 関係機関	45
	(3)更生保護の推進	① 社会的包摂の意識啓発	本庄市社協 本庄市	46
		② 更生保護団体との連携強化	本庄市社協 本庄市	47
		③ 更生保護活動への参加促進	本庄市社協 本庄市	
		④ 福祉資金・生活福祉資金貸付制度	本庄市社協 埼玉県社協	48
		⑤ 彩の国あんしんセーフティネット事業【再掲】	本庄市社協 社会福祉法人	
		⑥ フードバンク事業【再掲】	本庄市社協 地域団体	49

≪第3期本庄市地域福祉活動計画 進捗管理シート≫

基本戦略1

市民の生活を支える仕組みづくり

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

施策細目	(1) 相談支援の仕組みづくり
<p>市民や地域の関係機関・団体等との連携・協働により、悩みごとを抱えた人が地域で孤立することがないように、引き続き相談者の不安や悩みに寄り添った相談対応や情報発信に取り組みます。また、地域における情報発信力・伝達力強化を目指し、住民主体の取組を支援するためのコミュニティソーシャルワークの実践及び技術の向上に努めます。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R5年度/ R4年度	R10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
自立相談支援事業新規相談件数	383件/ 454件	460件	485件				
ふくしPRコーナー設置数	42か所/ 37か所	45か所	48か所				

取組名称	① 各種相談窓口の設置	
概要	市民からの相談に対応するため、成年後見制度等の分野別相談や心配ごと相談等の各種相談窓口を開設し、専門家や市民等の協力を得ながら運営にあたります。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	各種相談窓口を開設し、市民の悩みを受け止め、情報提供を行うとともに、必要な機関やサービスにつなぐ等、相談者の不安解消に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	【心配ごと相談】 本庄会場で月2回、児玉会場で月1回開設し、相談員が2名体制で相談を受けました。（利用者数14人・相談件数15件） 【成年後見相談】 毎月第2・第4火曜日に開設し、相談員2名、相談員アドバイザー1名体制で相談を受けました。（専門相談件数16件・一般相談件数39件）	A
	令和7年度取組方針	
	各相談事業の実績を考慮し、関係機関と協議しながら、受付方法や相談員等の体制等、研究を重ねていきます。	

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(1) 相談支援の仕組みづくり

取組名称	② 相談窓口の周知及び多チャンネル化の検討	
概 要	市広報紙及び様々な媒体等を通じて、窓口の周知に努めます。また、相談が難しい人に対し、相談者の特性に応じてアウトリーチの強化等を図ります。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	各種広報紙への掲載やチラシの配付等により、相談窓口の周知に努めるとともに、必要に応じてアウトリーチによる訪問対応を行います。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	市広報紙、社協ホームページ、SNS、チラシ・パンフレットの配布等により、相談窓口の情報を発信しました。広報活動では、ユニバーサルデザインや多言語化に配慮し、各種相談窓口のチラシを作成して、SNS等を活用した迅速かつ分かりやすい情報発信を心がけました。 【相談実績】 ・自立相談支援窓口（485件）ほか	A
	令和7年度取組方針	
	引き続き、支援を必要とする人への情報提供体制の充実に努め、情報のバリアフリー化を目指します。また、積極的なアウトリーチ対応により支援の充実に図ります。	

取組名称	③ 相談員等の確保及び担当職員の資質向上	
概 要	相談に対応するため、相談員等の確保に努めるとともに、相談員及び担当職員等の資質向上のための研修等を実施します。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	各種相談窓口の運営にあたり、相談員及び担当職員を対象とした研修を行い、資質の向上に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	相談員及び担当職員を対象とする研修会の開催等を通じて、相談対応力の向上に努めました。成年後見相談員研修としては、公認心理師による相談援助技術研修を行いました。相談対応における情報の共有や相談員相互の連携強化等により、相談対応の質の向上を図りました。	A
	令和7年度取組方針	
	相談員の研修を定期的実施し、相談スキルの向上に努めるとともに、意見交換会等を通じて相談員相互の連携強化を図ります。	

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(1) 相談支援の仕組みづくり

取組名称	④ ふくしPRコーナーの設置	
概 要	福祉情報を発信するため、市内公共施設や民間事業所等の協力により、「ふくしPRコーナー」を設置します。	
実施主体	令和6年度の実施方針	
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	市内事業所等にふくしPRコーナーの新規設置を呼びかけ、設置増強に努めて福祉情報の発信強化を図ります。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	市内事業所等にふくしPRコーナーの新規設置を呼びかけ、福祉情報の提供に努めました。昨年度より6か所増の48件となりました。 【ふくしPRコーナー設置場所（種別ごと）】 ・福祉施設（11か所）医療機関（16か所）地域包括支援センター（3か所）店舗等（18か所）／計48か所	A
	令和7年度の実施方針	
	引き続き市内事業所等にふくしPRコーナーの新規設置を呼びかけます。	

取組名称	⑤ コミュニティソーシャルワークの推進		【再掲】あり
概 要	地域における住民主体の取組を支援するため、社協及び関係機関職員がコミュニティソーシャルワークの実践を通じて、ソーシャルワーク技術の向上を図るとともに、専門職の適正な配置に努めます。		
実施主体	令和６年度の実組方針		
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和６年度 A 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和10年度	コミュニティソーシャルワーカーの配置を目指し、職員体制を強化するとともに、研修等を通じて職員の資質向上に努めます。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	職員体制の強化に向け、市と協議のうえ計画的に職員採用を行うこととしました（令和７年度・令和８年度２名ずつ増員）。また、地域福祉に関連する研修等に職員が積極的に参加し、コミュニティケアの実践等について学びを深めました。		A
	令和７年度の実組方針		
	引き続き市と協議しながら職員体制の強化に努めるとともに、職員の更なる資質の向上に努めます。		

施策細目	(2) 福祉サービスの充実
<p>市民が、困った時にサービスを利用する受援者（利用者）としての立場だけではなく、得意なことを地域のために役立てる支援者（ボランティア）としての立場となれる場・仕組みを提供していきます。また、本庄市社協では、福祉サービスの充実を目的とした、社協会員（会費）募集や各種募金活動等の、民間の福祉活動財源確保のための取組を通じて、地域住民が福祉への理解を深めてもらえるように努めます。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R5年度/ R4年度	R10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
ほんじょう助け合いサービス会員数	149人/ 107人	125人	189人				
ファミリー・サポート・センター会員数	150人/ 166人	175人	145人				
社協会員数	6,224件 /6,383件	6,400件	6,230件				
赤い羽根共同募金街頭募金協力団体数	4団体/ 5団体	8団体	4団体				

取組名称	① ほんじょう助け合いサービス		
概要	市民が協会員・利用会員として登録し、有償で家事等の援助を行います。会員の募集やマッチング等を行います。		
実施主体	令和6年度取組方針		
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	サービスの利用拡大を目指し、高齢者・障害者・妊産婦等への周知を図ります。また、協力を会員を募集して、支援体制の強化に努めます。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	社協だより等で事業の周知を行い、利用会員・協会員を増加を図りました。また、協会員は技術向上のために研修会を開催しました。利用会員は年々増加傾向にあります。協会員は高齢等による退会がみられつつも、令和6年度は5名増加しました。 【事業実績】 ・利用会員（131人）協会員（58人） ・訪問回数（1,264回）		A
	令和7年度取組方針		
	引き続き、事業の周知を行うとともに、利用ニーズに応えられる協会員の確保、援助技術の向上を図っていきます。		

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(2) 福祉サービスの充実

取組名称	② ファミリー・サポート・センター事業	
概 要	子育て支援が必要な人と支援できる人が会員登録して、こどもの一時預かり等を行います。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	事業周知や日々のマッチングを通じて利用促進に努めるとともに、援助会員・両方会員の募集を行い、支援体制の強化を図ります。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	援助会員確保のため、普通救命講習会を公開講座として実施しました。そのほか、社協だよりやボランティア情報紙に援助会員募集の記事を掲載するとともに、各種講座や団体定例会等でチラシを配布したところ、6名の新規登録がありました。さらに、会員相互の親睦を深めるため、会員交流会を開催しました。 【登録会員数】 ・依頼会員（108人） 援助会員（31人） 両方会員（6人） ・援助回数（1,003回）	A
	令和7年度取組方針	
	保育サービス講習会を実施して援助会員及び両方会員のスキルアップに努め、新規援助会員確保のため一般参加者を募集します。また、引き続き会員間の親睦を深めるために交流会を開催します。	

取組名称	③ 生活支援体制整備事業における支援の検討	
概 要	市内に配置された生活支援コーディネーターが運営を支援する協議体の取組等を通じて、地域に不足する資源の開発等に努めます。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	第1層生活支援コーディネーターの受託及び協議体への参加等により、地域包括ケアの推進に取り組みます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	市内4地域、第2層協議体の会議に参加して、地域課題の把握に努めました。また、課題解決に向けて協議を行いました。 【事業実績】 ・各協議体会議回数（20回） ・住民主体による移動支援ボランティアグループ立ち上げ支援（2団体）	A
	令和7年度取組方針	
	地域課題解決に向けて、引き続き住民主体のボランティアグループ立ち上げ支援に努めます。	

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(2) 福祉サービスの充実

取組名称	④ 社協会員（会費）募集	
概 要	市民の地域福祉への参加の促進及び福祉への理解を深めてもらうため、会員制度の下、会費を受け付けます。会費は地域福祉財源として活用します。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協	市民・団体・企業に対し社協会員加入を呼びかけ、福祉への理解促進と地域福祉財源の確保に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	<p>ホームページのほか、社協だよりやチラシ等を作成して、社協会員募集に関する周知を図り、昨年度（5,339,953円）を上回る会費実績を得ることができました。</p> <p>【会員・会費実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通会員（4,949件） 特別会員（1,014件） 法人会員（267件） ・会費額計（5,370,277円） 	A
	令和7年度取組方針	
	継続的な会員増強のため、引き続き、社協だよりやホームページ、SNS等を活用して社協の認知度向上を図り、安定的な財源の確保に努めます。	

取組名称	⑤ 赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動	
概 要	都道府県を単位に行われる募金活動等です。寄せられた募金は、こどもたち、高齢者、障害者などを支援する様々な福祉活動や、災害時支援等に役立てられます。	
実施主体	令和6年度取組方針	
共同募金会 (本庄市社協)	法人募金の増強のほか、街頭募金協力団体や赤い羽根自動販売機設置台数の増加を目指して、市内団体及び企業等へ働きかけを行います。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	<p>法人募金増強のため、社協法人会員に協力依頼を行いました。その他、赤い羽根自動販売機設置の呼びかけを行い、新たに市内2か所に赤い羽根自動販売機が設置されました。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤い羽根共同募金（6,281,426円） ・歳末たすけあい募金（636,984円） ・街頭募金協力団体（4団体） ・赤い羽根自動販売機7台設置（募金額 53,451円） 	A
	令和7年度取組方針	
	今後も設置台数増加に向けての周知や、街頭募金協力団体の募集などを行っていきます。	

施策細目	(3) 横断的なサービスづくり
<p>今後の取組として、市内社会福祉法人や支援団体等が連携して独自の取組を考えるための組織づくりとともに、市内の支援団体が連携していくための仕組みづくりが必要です。本庄市社協では、支援団体等をつなぐ役割を果たせるよう組織体制の整備に努めます。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6 年度	7 年度	8 年度	9 年度	10 年度
あんしんセーフティ新規利用件数	22件/ 9件	12件	35件				
あんしんセーフティ参加法人数	5法人/ 5法人	7法人	5法人				
社協によるフードバンク支援件数	324件/ 238件	240件	696件				
恋たま本庄登録者数	328人/ 282人	310人	365人				

取組名称	① 彩の国あんしんセーフティネット事業		【再掲】あり
概 要	埼玉県内の社会福祉法人が連携して、生活困窮者を支援するため、状況に応じて経済的援助や就労訓練等を行います。		
実施主体	令和６年度取組方針		
本庄市社協 社会福祉法人 【評価】 令和６年度 A 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和１０年度	市内社会福祉法人との連携により、制度の狭間にある生活困窮者の問題等に対応するとともに、参加法人相互の連携強化に努めます。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	他制度で支援が難しい方や、制度へつなげる間の一時的かつ緊急的な支援を市内社会福祉法人と連携して実施し、現物給付等の支援を行いました。		A
	【支援実績】 ・新規件数（３５件）継続件数（２４件）／合計（５９件）		
	令和７年度取組方針		
自立相談支援機関や、社会福祉法人とのより一層の連携を図り、制度の狭間で困窮している方への支援を強化します。			

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(3) 横断的なサービスづくり

取組名称	② フードバンク事業		【再掲】あり
概 要	助け合いの観点から個人・法人等より寄贈を受けた食品等を、必要とする団体や困窮世帯等に無償で提供し、個別に支援を行います。		
実施主体	令和6年度取組方針		
本庄市社協 地域団体	切迫した生活困窮者に食料支援を行うため、市民・企業・団体等に生活支援物資の寄附を呼びかけ、助け合いの推進に努めます。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	<p>市民・企業・団体等へ広く呼びかけを行い、食品や日用品などの寄附を積極的に募りました。また、生活困窮世帯に対して、他制度利用までのつなぎとして食料支援を行いました。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業及び団体（65団体）個人寄附（159件） ・寄附物品総重量（3,574kg） ・支援件数（696件） 		A
	令和7年度取組方針		
	生活困窮世帯へ緊急時等に速やかに支援が行えるよう、関係機関との連携を強化し、市民等へ寄附募集を継続していきます。また、新たな協力企業・団体の開拓と、より一層の周知活動に取り組み、支援の輪を広げてまいります。		

取組名称	③ フードパントリー事業		
概 要	フードバンク事業等で集まった食品等を活用して、生活困窮世帯等を対象に呼びかけを行い、食料や日用品等を提供します。		
実施主体	令和6年度取組方針		
本庄市社協 地域団体	フードバンク事業でご寄附いただいた食料等の生活支援物資提供を通じて、生活に困窮する子育て世帯等への支援に努めます。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	<p>フードバンク事業等で集まった食品や日用品を活用し、「食」の支援が必要な子育て世帯へフードパントリー事業を実施しました。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協力企業及び団体（14団体）個人寄附（10件） ・配付世帯（209世帯）配付対象者数（670人） 		A
	令和7年度取組方針		
	生活困窮世帯へ緊急時等に速やかに支援が行えるよう、関係機関との連携を強化を図ります。また、フードバンクとの連携を強化し、より効果的なパントリー事業の実施を目指します。		

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(3) 横断的なサービスづくり

取組名称	④ 支援団体等の相互連携の強化	
概 要	助け合いの観点から個人・法人等より寄贈を受けた食品等を、必要とする団体や困窮世帯等に 市内の関係団体等が、相互交流及び連携強化を図ることができるよう、協議する場等の設置について検討します。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 地域団体	市内のボランティア団体や支援団体が相互交流できるよう、交流の機会の提供や、現に連携する団体の支援等に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	市内の支援団体ネットワーク組織に対して、支援物資の提供や助成金などの情報提供を行いました。ネットワーク組織加入3団体が、県社協の助成金を申請し活用しました。	A
	令和7年度取組方針	
【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	引き続き、支援団体ネットワーク組織との協力体制づくりに努めます。	

取組名称	⑤ SAITAMA出会いサポートセンター本庄の運営	
概 要	結婚を誠実に希望する独身男女に出会いの機会を提供する、埼玉県独自の結婚支援センターです。本庄市社協では、県内3箇所の窓口の一つとして「本庄センター」を運営します。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 埼玉県	結婚支援により独身男女に出会いの機会を提供するとともに、結婚に向けた相談支援を通じて、相互支援の理解促進及び共に支えあう社会の実現を目指します。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	入会受付や結婚に向けた相談対応の他、定期的に婚活パーティーなどの各種イベントを開催し、結婚に対する気運の醸成や出会いの機会の提供を図りました。 【事業実績】 ・市在住成婚者数（2人） ・来所者数（113人） ・婚活イベント実施回数（13回）参加者数（291人）	A
	令和7年度取組方針	
【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	引き続き、結婚を希望する方が安心して相談・活動できる環境を整備するとともに、気運醸成や効果的な支援に努めてまいります。	

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

施策細目	(4) 人にやさしい生活環境の充実
<p>市民や専門職等の障害に対する理解の促進のため、心のバリアフリー教育を推進し、ユニバーサルデザインの普及促進等に努めます。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
ふくしフェスタ 参加者数	37人/ 24人	40人	22人				
児玉郡市手話通 訳者派遣件数	1,036件/ 850件	850件	992件				
福祉教育出前講 座実施回数	26回/ 27回	30回	24回				
車いす・福祉車 両貸出件数	116件・1 70件/106 件・147件	110件・ 150件	151件・ 170件				

取組名称	① 心のバリアフリー教育の推進	
概 要	市民が障害等について学ぶ機会を提供するため「ふくしフェスタ」を開催し、心のバリアフリー教育を推進します。	
実施主体	令和6年度 of 取組方針	
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	誰もが参加しやすいイベントや講座等の開催を通じて、市民の障害への理解促進に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	「ふくしフェスタ」を開催し、小学生から高齢者まで幅広い世代の方に参加いただき、コミュニケーションカードゲームの体験を通して、目に見えない障害について理解を深めました。 【事業実績】 ・参加者数（22人）	A
	令和7年度 of 取組方針	
	参加者数の増加を目指し、開催時期や内容の見直しを行っていきます。	

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(4) 人にやさしい生活環境の充実

取組名称	② 社協だより等のユニバーサルデザイン対応	
概 要	パンフレットやホームページ等において、UDフォント(誰でも見やすく読みやすい書体)を使用するほか、多言語化を推進するなど、ユニバーサルデザインの普及を図ります。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	UDフォントの使用や多言語化等への取組を通じて、ユニバーサルデザイン対応への促進に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	社協だよりによりUDフォントを採用し、誰にとっても読みやすい広報物を発行しました。また、ホームページには多言語対応機能により、外国人住民にも情報が届くよう工夫しました。 【事業実績】 ・社協だより発行(年4回) ・配付数(32,600部/1回あたり) ・その他(多言語対応機能導入/英語・中国語・韓国語ほか)	A
	令和7年度取組方針	
	UDフォントの活用範囲拡大の検討を進め、さらなるユニバーサルデザイン対応を推進していきます。	

取組名称	③ 障害に対する理解の促進と意思疎通支援の推進	
概 要	ボランティア団体等が、点字教室や手話講習会等を開催し、市民の障害に対する理解促進に努めています。本庄市社協では、児玉郡市手話通訳者派遣事業を受託して、利用者の要望に応じて手話通訳者を派遣します。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 地域団体 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	手話通訳者派遣事業の受託や講習会等の開催を通じて、障害への理解の促進と意思疎通支援の推進に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	聴覚障害者とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者の派遣を行い、意思疎通の円滑化に努めるとともに、手話奉仕員養成講座(入門課程)や手話体験・パラスポーツ体験(夏ボラ)等を開催し、理解促進と支援人材の育成に努めました。 【事業実績】 ・手話通訳者派遣件数(992件)※児玉郡市実績 ・手話奉仕員養成講座(入門課程)受講者数(19人) ・夏のボランティア体験プログラム参加者数(270人)	A
	令和7年度取組方針	
	引き続き、派遣事業を通じた意思疎通支援の推進と、手話奉仕員等の人材育成による障害理解の促進に努めます。	

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(4) 人にやさしい生活環境の充実

取組名称	④ 福祉教育推進事業		【再掲】あり
概 要	学校や地域において、福祉教育ボランティア等が出前講座を実施します。講話・体験学習・実践学習等を行い、参加者が福祉についての理解を深めます。また、関係者が集い、定期的にプログラムの見直しに取り組みます。		
実施主体	令和６年度取組方針		
本庄市社協	福祉教育ボランティアと連携しながら、学校等における福祉教育の推進やプログラム内容の拡充に努めます。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	市内の学校に福祉教育プログラム集を配布しました。あわせて、県社協が発行するパンフレットを活用して、福祉教育ボランティアとともに新しいスライド資料を完成させました。		A
	【活動実績】 ・総合学習支援（延べ１９回） ・地域イベント等への協力（延べ５回）		
令和７年度取組方針			
【評価】 令和６年度 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和１０年度	完成したスライドは、総合学習支援で活用します。また、より良い福祉体験が行えるよう、ボランティアにご意見をいただき、プログラムメニュー内容の充実を図ります。		

取組名称	⑤ ふれ愛祭・障がい者作品展等の開催		
概 要	障害者の社会参加を促進するため、障害の有無や年齢、性別等に関わらず、あらゆる人が楽しめる機会を創出し、相互理解及び交流を図ります。		
実施主体	令和６年度取組方針		
本庄市社協 地域団体 【評価】 令和６年度 A 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和１０年度	障害に関するイベントへの参加及び開催を通じて、障害の有無を越えた人々の交流の促進と相互理解の推進に努めます。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	ふれ愛祭と障がい者作品展を同時開催しました。開催後には、作品展のカレンダーを作成し、児玉郡市内の施設や公共施設等へ配布しました。 【事業実績】 ・１０月２０日(日)開催@カミケンシルクドーム（本庄総合公園体育館） ・参加施設数（１９施設）		A
	令和７年度取組方針		
作品展の開催に関しては、市と協議しながら、より多くの方に作品を見ていただけるよう、ふれ愛祭と同時開催に加え、別途展示期間を設ける方向で検討します。			

基本戦略1 市民の生活を支える仕組みづくり

(4) 人にやさしい生活環境の充実

取組名称	⑥ 車いす・福祉車両の貸出し	
概 要	歩行に困難を抱える人が外出しやすいよう、車いすや車いすに対応した福祉車両の貸出しを行います。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	車いす及び福祉車両貸出を通じて、歩行が困難な人の社会参加の促進に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	通院や買い物、旅行など一時的な外出時や、ケガをした際の移動に利用できるよう車いすや福祉車両を貸出ししました。 【利用実績】 ・車いす貸出件数（151件） ・福祉車両貸出件数（170件）	A
	令和7年度取組方針	
	車いす貸出のチラシを作成し、貸出の説明時や各定例会等で配布し周知に努めます。	

≪第3期本庄市地域福祉活動計画 進捗管理シート≫

基本戦略2

地域におけるつながりの強化

施策細目	(1) 地域人材の確保・育成
<p>より多くの人々が、地域活動にもっと手軽に取り組めるよう環境整備を進める必要があり、ボランティアセンターとして、既に活動している人とともに、地域活動の魅力について発信していきます。また、今後様々な場面でボランティア団体と協働する機会を設けていきます。</p> <p>本庄市社協では、地域人材の確保・育成のため、「ボランティア養成講座」等の実施にあたり、地域住民の意見等を把握しながら、より一層魅力のある講座の開催に努め、地域人材の確保・育成を図ります。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
登録ボランティア数（個人） （※）	139人/ 202人	240人	147人				
登録ボランティア数（団体）	76団体/ 69団体	80団体	76団体				
ボランティア相談件数（マッチング率）	69件(70.9%) /52件(90.3%)	80件 (85.0%)	72件 (80.5%)				
VG連絡会登録団体数	13団体/ 15団体	18団体	13団体				
ボランティア活動保険加入者数	753人/ 970人	1,100人	754人				

（※）登録ボランティア数（個人）には、福祉教育ボランティア・友愛通信ボランティア・生活支援サポーターを含みます。

取組名称	① ボランティアセンターの運営	
概要	ボランティアセンター（本庄市社協内）では、ボランティアの登録・相談・調整等を行い、ニーズに対するマッチングを行うほか、運営委員会による評価等を行います。	
実施主体	令和6年度の取組方針	
本庄市社協	市民のボランティアへの関心を高め、ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティアセンターを運営します。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	<p>センターへ寄せられるボランティアニーズに対してマッチングを行いました。また、ボランティア情報について、情報紙やSNS等で発信しました。</p> <p>【事業実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別ニーズ対応（10件／マッチング率90％） ・施設・団体ニーズ対応（62件／マッチング率79％） ・ボランティア情報紙発行（6回） 	A
	令和7年度の取組方針	
	SNS等をさらに活用し、ボランティアセンターの機能周知やボランティアニーズの発掘、登録ボランティア数の増加に努めます。	

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(1) 地域人材の確保・育成

取組名称	② 各種ボランティア・生活支援サポーター養成講座等の開催	
概 要	地域人材を確保・育成するため、各種ボランティア養成講座や生活支援サポーター養成講座（市委託事業）等を実施します。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	ボランティアセンターにおいて各種ボランティア養成講座等を開催し、地域人材の確保・育成に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	生活支援サポーター養成講座及びスキルアップ講座を開催し、生活支援サービスの担い手として活動できる方を養成しました。 また、福祉教育ボランティア養成講座、ボランティア活動のためのカウンセリング講座を開催しました。 【事業実績】 ・4講座参加者数（63人） ・福祉教育ボランティア（16人）生活支援サポーター（47人）	A
	令和7年度取組方針	
	引き続き養成講座等を開催し、人材育成に努めます。	

取組名称	③ 本庄市ボランティアグループ連絡会	
概 要	参加団体相互の情報交換や協力体制の確立等を目的として、定例会や研修会等を開催します。	
実施主体	令和6年度取組方針	
地域団体 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	本庄市ボランティアグループ連絡会の事務局として、市内ボランティア団体の相互連携の推進に貢献します。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	加入団体が定例会にて情報交換や懇親会を行いました。また、ふれ愛祭に参加したほか、ボランティア活動コーナーPR展示を行いました。 【事業実績】 ・加入団体数（13団体）	A
	令和7年度取組方針	
	加入団体の増加に向けた周知や、取り組み内容の見直しを行っていきます。	

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(1) 地域人材の確保・育成

取組名称	④ ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険	
概 要	安心してボランティア活動に取り組めるよう、活動中の様々な事故による怪我や賠償責任を補償する保険制度の適正な運用を図ります。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	市民が安心してボランティア活動できるよう、ボランティア活動保険等の受付窓口として、周知及び適正な運用を図ります。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	社協窓口にて、保険加入の受付を行いました。また、社協だよりやボランティア情報紙で保険の案内や活動中の事故防止への案内を行いました。 【事業実績】 ・ボランティア活動保険加入（754人） ・ボランティア行事用保険加入（145件）	A
	令和7年度取組方針	
	引き続き、保険の受付及び社協だよりやボランティア情報紙、SNS等による保険の案内や活動中の事故防止への案内等を行っていきます。	

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

施策細目	(2) 専門職・支援関係者の育成と支援
<p>地域の専門職・支援関係者と連携しながら、引き続き高齢者等に対して、サービスに関する情報の提供や見守り等を行います。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
民児協定例会 参加回数 (7地区)	79回/ 79回	79回	79回				
高齢者世帯等 安否確認事業 利用世帯数	938世帯/ 976世帯	1,000世帯	988世帯				

取組名称	① ケアマネ会議・介護支援専門員連絡会の定期的な開催		
概 要	地域包括支援センター・介護支援専門員連絡会において、ケアマネジャーを対象とする定期的な会議や研修、情報交換の場等を引き続き設けます。		
実施主体	令和６年度取組方針		
本庄市 関係機関	社協及び地域包括支援センターとして、ケアマネ会議等で福祉や介護に関する情報の提供に努め、介護支援専門員等の支援に取り組めます。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	市内の介護支援専門員を対象とした本庄地域ケアマネ会議を開催し、高齢者支援に必要な知識や情報提供を行いました。また、本庄市介護支援専門員連絡会への活動支援を行いました。 本庄地域ケアマネ会議は年６回（偶数月第３木曜日）に開催し、毎回４０名程度の参加がありました。		A
	令和１０年度		
【評価】 令和６年度 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和１０年度	令和７年度取組方針		
	今後も地域の介護支援専門員等を連携を図りながら、研修や情報交換の場の提供を行っていきます。		

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(2) 専門職・支援関係者の育成と支援

取組名称	② 高齢者の便利ガイド等の活用	
概 要	介護支援専門員等、地域で高齢者を支える専門職への情報発信を行います。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	高齢者便利ガイド及びその他の情報紙等を活用して、地域の専門職への情報発信に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	高齢者の便利ガイドのほか、生活支援体制整備事業、地域のサロン情報紙、技ありボランティア「本庄お役立ち隊」BOOKホームページ等を活用して情報発信を行いました。新規サロン登録や、サロンへの参加に関する問い合わせ等があり、サロン活動の活性化に貢献しました。	A
	令和7年度取組方針	
	今後も、地域の高齢者や介護支援専門員等の専門職に対し、できるだけ新しい地域資源等の情報発信に努めます	

取組名称	③ 地域の高齢者等への福祉情報の発信	
概 要	居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等と協力しながら、在宅の高齢者への情報発信を行います。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 関係機関 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	地域の関係機関と協力し、地域で暮らす高齢者等への福祉情報の発信に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	ふくしPRコーナーの設置にあたり、福祉施設や医療機関等の協力により、市民への福祉情報の発信に努めました。 【ふくしPRコーナー設置場所（種別ごと）】（再掲） ・福祉施設（11か所）医療機関（16か所）地域包括支援センター（3か所）店舗等（18か所）／計48か所	A
	令和7年度取組方針	
	引き続き、関係機関等と連携して地域で暮らす高齢者等への福祉情報発信に努めます。	

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(2) 専門職・支援関係者の育成と支援

取組名称	④ 高齢者世帯等安否確認事業		【再掲】あり
概 要	民生委員・児童委員と本庄市社協が協働して、在宅単身高齢者等に対する定期訪問活動を行います。		
実施主体	令和6年度取組方針		
本庄市社協 民児協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	民生委員・児童委員と協働して事業の適正な運用を図り、高齢者が安心できる暮らしづくりに貢献します。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	地域の見守りを必要とする高齢者世帯等に対して、民生委員・児童委員が毎月お便りや生活物品等を配付し、安否確認と孤立防止に取り組む活動を支援しました。また、連絡の取れない対象世帯については、緊急連絡先に確認を取り、状況把握に努めました。 【事業実績】 ・利用世帯数（988件）		A
	令和7年度取組方針		
	民生委員・児童委員と協力し、安否確認と孤立防止に取り組む活動を支援します。		

施策細目	(3) 関係機関・団体等との連携強化
<p>本庄市社協では、高齢・障害・児童等の分野を越えて、市内の社会福祉法人の相互連携強化を図るとともに、本市独自の地域貢献活動等について検討・協議する場として、「社会福祉法人連絡会（仮称）」の立ち上げについて検討していきます。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
社会福祉法人 連絡会（仮称） の開催	未開催/ 未開催	開催	未開催				
あんしんセーフ ティ参加法人数 【再掲】	5法人/ 5法人	7法人	5法人				

取組名称	① 地域ケア会議・支援調整会議への参加		
概 要	地域の専門職や地域住民等が参加して、個別課題の検討や地域に共通した課題の明確化等を行い、暮らしやすい環境づくりを目指します。		
実施主体	令和6年度の実施方針		
本庄市社協 本庄市 関係機関 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	地域ケア会議や支援調整会議等への参加を通じて、地域住民の個別課題の把握に努めます。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	地域ケア個別会議に参加して、地域資源の情報提供を行うとともに、地域の課題の把握に努めました。 【事業実績】 ・地域ケア個別会議（26回）課題整理会議参加（4回） ・その他、アドバイザー意見交換会、地域ケア推進会議等参加		A
	令和7年度の実施方針		
	引き続き、地域ケア会議等に参加して、地域の専門職との関係づくりに努めます。		

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(3) 関係機関・団体等との連携強化

取組名称	② 彩の国あんしんセーフティネット事業【再掲】	
概 要	埼玉県内の社会福祉法人が連携して、生活困窮者を支援するため、状況に応じて経済的援助や就労訓練等を行います。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 社会福祉法人 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	市内社会福祉法人との連携により、生活困窮者の制度の狭間の問題に対応するとともに、参加法人相互の連携強化に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	他制度で支援が難しい方や、制度へつなげる間の一時的かつ緊急的な支援を市内社会福祉法人と連携して実施し、現物給付等の支援を行いました。 【支援実績】 ・新規（35件）継続（24件）／合計（59件）	A
	令和7年度取組方針	
	自立相談支援機関や、社会福祉法人とのより一層の連携を図り、制度の狭間で困窮している方への支援を強化します。	
取組名称	③ 社会福祉法人連絡会（仮称）の開催に向けた検討	
概 要	市内社会福祉法人の相互連携強化を図り、独自の地域貢献活動等について協議する場として、社会福祉法人連絡会（仮称）の開催に向けて取り組みます。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 社会福祉法人 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	市内の社会福祉法人連絡会の開催に向けて、情報収集及び職員体制の強化に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	社会貢献活動推進協議会の研修や県社協主催の地域福祉推進プラットフォームに参加し、社会福祉法人との連携について学びました。 【活動実績】 ・会議参加（3回／7月、11月、2月）	A
	令和7年度取組方針	
	市内社会福祉法人との連携強化を図るため、連絡会の開催に向けて、引き続き研修等に参加して情報収集に努めます。	

施策細目	(4) 福祉学習の充実
<p>本庄市社協では、引き続き福祉教育ボランティアとともに出前講座等を行い、福祉教育の推進に努めるとともに、市民や他機関・他団体と協働してプログラムの充実を図ります。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
福祉教育出前講座実施回数【再掲】	26回/ 27回	30回	24回				
福祉教育ボランティア数(※)	16人/ 16人	20人	16人				
夏のボランティア体験プログラム参加者数	182人/ 84人	100人	270人				

(※) R 4年度・R 5年度の福祉教育ボランティア数には、福祉教育サポーター5名(養成講座未修了者等)を含みます。

取組名称	① 福祉教育推進事業【再掲】		
概要	<p>学校や地域において、福祉教育ボランティア等が出前講座を実施します。講話・体験学習・実践学習等を行い、参加者が福祉についての理解を深めます。また、関係者が集い、定期的にプログラムの見直しに取り組みます。</p>		
実施主体	令和6年度の取組方針		
<p>本庄市社協 学校</p> <p>【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度</p>	<p>福祉教育ボランティアと連携しながら、学校等における福祉教育の推進やプログラム内容の拡充に努めます。</p>		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	<p>市内の学校に福祉教育プログラム集を配布しました。あわせて、県社協が発行するパンフレットを活用して、福祉教育ボランティアとともに新しいスライド資料を完成させました。</p> <p>【活動実績】 ・総合学習支援(延べ19回) ・地域イベント等への協力(延べ5回)</p>		A
	令和7年度の取組方針		
	<p>完成したスライドは、総合学習支援で活用します。また、より良い福祉体験が行えるよう、ボランティアにご意見をいただき、プログラムメニュー内容の充実を図ります。</p>		

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(4) 福祉学習の充実

取組名称	② 夏のボランティア体験プログラム		
概 要	学校の夏休み期間を中心に、幅広い世代を対象にボランティア体験等のメニューを実施します。		
実施主体	令和６年度取組方針		
本庄市社協	県内他市町村社協等の先進的な取組事例を参考にする等、プログラムの拡充を目指して、幅広い世代のプログラムへの参加を促進します。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	今年度よりメニューを拡充し、小学生から一般社会人までを対象に、福祉意識の醸成につなげることを目的に実施しました。		A
	【事業実績】 ・メニュー数（４メニュー）参加者数（２７０人）		
【評価】 令和６年度 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和１０年度	令和７年度取組方針		
	引き続き、ボランティア団体や関係機関等と連携して、メニューの充実に努めます。また、参加者が継続的にボランティア活動へつながるための仕組みづくりについて検討します。		

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

施策細目	(5) 小地域における福祉活動の推進
<p>市と本庄市社協では、自治会連合会や民生委員・児童委員協議会等とともに小地域における福祉活動の推進に取り組み、住民主体の支え合い活動の推進に努めます。また、活動を支える専門職等の人材確保・育成を図りつつ、アフターコロナにおける、より一層の地域活動の活性化を目指します。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
高齢者世帯等安否確認事業利用世帯数【再掲】	938世帯/ 976世帯	1,000世帯	988世帯				
登録サロン数	72か所/ 70か所	75か所	79か所				
ラジオ体操登録団体数	10か所/ 0か所	10か所	13か所				
住民主体の支え合い団体数	2団体/ 2団体	4団体	4団体				

取組名称	① 高齢者世帯等安否確認事業【再掲】		
概要	民生委員・児童委員と本庄市社協が協働して、在宅単身高齢者等に対する定期訪問活動を行います。		
実施主体	令和6年度の取組方針		
本庄市社協 民児協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	民生委員・児童委員と協働して事業の適正な運用を図り、高齢者が安心できる暮らしづくりに貢献します。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	地域の見守りを必要とする高齢者世帯等に対して、民生委員・児童委員が毎月お便りや生活物品等を配付し、安否確認と孤立防止に取り組む活動を支援しました。また、連絡の取れない対象世帯については、緊急連絡先に確認を取り、状況把握に努めました。 【事業実績】 ・利用世帯数（988件）		A
	令和7年度取組方針		
	民生委員・児童委員と協力し、安否確認と孤立防止に取り組む活動を支援します。		

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(5) 小地域における福祉活動の推進

取組名称	② ふれあいいきいきサロン等の設置推進	
概 要	地域で生活する高齢者や障害者等の地域住民が集まり、身近な地域を拠点に活動するふれあいいきいきサロン等を支援します。	
実施主体	令和6年度の実施方針	
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	ふれあいいきいきサロン等の立ち上げ及び運営支援に取り組み、地域における住民主体の居場所づくりを促進します。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	ホームページで情報発信するとともに、サロン情報紙を発行しました。各サロンには活動費を助成するとともに、新規サロンの立ち上げ支援のほか、既存のサロンに対する運営支援等を行いました。また、サロン活動の活性化を図るため、サロン代表者を対象に交流会を開催しました。 【事業実績】 ・登録サロン数（79サロン／新規7サロン） ・サロン交流会開催（サロンリーダー等45名参加）	A
	令和7年度の実施方針	
	社協だより掲載、ホームページでサロン活動の周知を行いながら、地域におけるサロン活動立ち上げ支援や運営等の支援を行います。	

取組名称	③ ラジオ体操普及促進事業	
概 要	老若男女を問わず誰でも気軽に参加できる地域交流の場として、定期的にラジオ体操を行う場づくりを支援します。	
実施主体	令和6年度の実施方針	
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	事業の推進を通じて、幅広い世代の身近な地域における地域活動への参加を促進します。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	赤い羽根共同募金運動の配分金を活用し、CDプレーヤー、CD（音源）の貸与を行いました。また、ホームページや市高齢者の便利ガイドに掲載し周知を行いました。 【事業実績】 ・登録団体数（13団体／新規3団体）	A
	令和7年度の実施方針	
	第2層生活支援コーディネーターや第2層協議体メンバー、民生委員・児童委員と連携し、引き続きラジオ体操の普及促進に努めます。	

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(5) 小地域における福祉活動の推進

取組名称	④ 地域別小地域福祉活動の推進	
概 要	小学校区等の小地域ごとに、地域活動を推進するための組織づくりに取り組みます。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 B 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	小地域福祉活動を展開するための基盤整備として、講演会等を通じて市民への啓発及び職員の研鑽に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	モデル地区の選定には至りませんでしたが、第2層生活支援コーディネーター、民生委員・児童委員と協力し、誰でも参加できる新たな通いの場（ラジオ体操普及）づくりの支援を行いました。	B
	令和7年度取組方針	
	第2層生活支援コーディネーターや第2層協議体メンバー、民生委員・児童委員と協力して、住民主体の地域活動の支援に努めます。	

取組名称	⑤ 住民主体の支え合い活動の推進	
概 要	地域住民のちょっとした困りごとを解決するため、住民主体により自治会等の小地域で展開される住民相互の支え合い活動を支援し、立ち上げに係る助言等を行います。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	小地域における相互支援活動の運営支援とともに、地域展開について、市民への働きかけを行います。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	第2層生活支援コーディネーターや第2層協議体メンバーと協力し、住民主体による支え合い団体立ち上げの支援を行いました。 【事業実績】 ・登録団体数（4団体／新規2団体）	A
	令和7年度取組方針	
	第2層生活支援コーディネーターや第2層協議体メンバーと協力し、住民主体による支え合い団体立ち上げの支援に努めます。	

基本戦略2 地域におけるつながりの強化

(5) 小地域における福祉活動の推進

取組名称	⑥ コミュニティソーシャルワークの推進【再掲】	
概 要	地域における住民主体の取組を支援するため、社協及び関係機関職員がコミュニティソーシャルワークの実践を通じて、ソーシャルワーク技術の向上を図るとともに、専門職の適正な配置に努めます。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	コミュニティソーシャルワーカーの配置を目指し、職員体制を強化するとともに、研修等を通じて職員の資質向上に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	職員体制の強化に向け、市と協議のうえ計画的に職員採用を行うこととしました（令和7年度・令和8年度2名ずつ増員）。また、地域福祉に関連する研修等に職員が積極的に参加し、コミュニティケアの実践等について学びを深めました。	A
	令和7年度取組方針	
	引き続き市と協議しながら職員体制の強化に努めるとともに、職員の更なる資質の向上に努めます。	

≪第3期本庄市地域福祉活動計画 進捗管理シート≫

基本戦略3

安心して暮らせる地域づくり

施策細目	(1) 地域における安心の創出
<p>災害ボランティア登録者数の増加を目指して、継続的に講座等に取り組むとともに、災害ボランティアセンターの運営訓練を定期的に行います。また、防犯ボランティア登録団体数の増加に向けて周知・啓発等に努めます。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
災害ボランティア（個人）	26人/ 23人	35人	27人				
災害ボランティア（団体）	15団体/ 12団体	18団体	15団体				

取組名称	① 災害ボランティアセンター運営訓練の実施	
概要	大規模災害時の住民相互援助活動を支援するため、市・社協が協議して設置する「災害ボランティアセンター」の運営を円滑に行うことができるよう、定期的に訓練を実施します。	
実施主体	令和6年度の取組方針	
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	災害支援に関する職員研修を行い、大規模災害への対応力強化に努めます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	有事の際に職員が役割を認識し、必要な行動がとれるよう、職員を対象とした災害ボランティアセンター運営訓練を行いました。また、他市町社協が行った災害関連の研修や訓練に職員が参加しました。 【実績】 ・災害ボランティアセンター運営訓練（職員対象）実施（1回） ・他市町社協が実施する研修及び訓練への参加（3回）	A
	令和7年度の取組方針	
	引き続き有事に備え、災害ボランティアセンター運営訓練等を開催し、他市町社協が実施する研修等に積極的に参加します。	

基本戦略3 安心して暮らせる地域づくり

(1) 地域における安心の創出

取組名称	② 災害ボランティアの養成	
概 要	大規模災害時の住民相互援助活動や、災害ボランティアセンターの運営等を担う地域人材を育成するため、災害ボランティアの養成を行います。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	ボランティア情報紙及びその他の媒体を通じてボランティアの募集を行い、人材の確保を目指します。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	ボランティア情報紙のほか、社協だより及び社協ホームページ等でボランティア募集を行いました。 【災害ボランティア登録実績】 ・個人登録（27人） ・団体登録（15団体）	A
	令和7年度取組方針	
	引き続き、ボランティア情報紙等を通じてボランティア募集を行うとともに、災害ボランティア養成講座等を開催して人材確保に努めます。	

取組名称	③ 災害時の相談支援体制の確立	
概 要	市や関係機関・団体と連携し、災害時に専門的な相談支援を行うための体制づくりを検討していきます。	
実施主体	令和6年度取組方針	
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	定期的に市及び関係機関・団体との協議の場を設け、大規模災害等への対応に備えます。	
	令和6年度実施結果	
	【具体的な取組内容・成果】	【自己評価】
	市内で災害が発生した場合の対応について、確認し情報共有を図るため、市関係各課との打ち合わせ会議を実施しました。	A
	令和7年度取組方針	
	引き続き、市及び関係機関・団体との協議の場を設け、災害への対応に備えます。	

施策細目	(2) 権利擁護の推進
<p>本庄市成年後見サポートセンターでは、判断能力に不安を感じる人への相談支援やサポートを、引き続き提供します。また、地域において権利擁護に対する理解の促進や、支援を必要とする人を取り巻く環境の整備に努め、孤立の防止やつながりの強化を図ります。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
成年後見相談 件数	40件/ 60件	72件	55件				
福祉サービス 利用援助事業 利用者数	19人/ 18人	18人	19人				
福祉サービス 利用援助事業 生活支援員数	13人/ 4人	10人	13人				

取組名称	① 成年後見サポートセンターによる相談支援等		
概 要	成年後見制度に関する相談・支援や情報提供、市民後見人の養成等を行います。また、パンフレット等を配布・設置し、啓発を行うほか、市民向け講演会を開催し、制度の周知等を行います。		
実施主体	令和６年度取組方針		
本庄市社協 本庄市	成年後見サポートセンターの運営を受託し、制度の理解促進及び利用支援に取り組めます。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	講演会やパンフレット等の配布による広報啓発や相談支援による理解促進、養成研修修了者に対するフォローアップ研修にて市民後見人の養成を行いました。		A
	【事業実績】 ・講演会参加者数（１０４人） ・相談件数（５５件） ・市民後見人養成（フォローアップ）研修参加（１８人）		
	令和８年度 令和９年度 令和１０年度		
令和７年度取組方針			
引き続き、講演会やパンフレット等の配布による広報啓発を行うとともに、相談対応にて制度の理解促進を図ります。また、市民後見人養成研修を行い、地域の担い手の育成を図ります。			

(2) 権利擁護の推進

取組名称	② 福祉サービス利用援助事業（あんサポ）		
概 要	もの忘れのある高齢者や、知的・精神障害のある人などが、安心して生活が送れるように、生活支援員が定期的に訪問して必要な支援を行います。		
実施主体	令和６年度取組方針		
本庄市社協 埼玉県社協 【評価】 令和６年度 A 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和１０年度	事業の受託により、判断能力に不安のある人が地域で安心して暮らせるまちづくりに貢献します。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	訪問や電話で利用者の相談を受け、意向の確認を行いながら支援を行いました。また、利用者の生活状況等を踏まえ、支援計画の評価・見直しを行いました。 そのほか、埼玉県社協主催の研修に参加し、専門員及び生活支援員のスキルアップを図ることができました。		A
	【事業実績】 ・利用者数（１９人）生活支援員数（１３人）		
	令和７年度取組方針		
	今後も利用者の意思を尊重しながら支援を行います。また、関係機関との連携強化を図り、事業の周知に努めます。		

取組名称	③ 認知症サポーター養成講座の開催		
概 要	認知症に対する知識と理解を深め、地域で認知症の人やその家族に対して支援することが できる市民を育成します。本庄市社協では、地域包括支援センターとしての立場から、認知 症サポーターの養成に取り組み、地域における理解の促進に努めます。		
実施主体	令和6年度取組方針		
本庄市社協 本庄市 関係機関 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	地域包括支援センターとして、認知症サポーターの養成に取り組み、認知症の人を支える 地域づくりに貢献します。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	本庄西地域包括支援センターでは、小学生から一般までを対象に、認知症 サポーター養成講座を開催しました。		A
	【養成講座実績】 ・本庄西包括5回実施（主催1回・小学校・中学校等）201人受講 （参考：市内全域41回実施・延べ1,881人受講）		
	令和7年度取組方針		
	こどもから大人まで広く認知症への理解を深めていただくため、今後は企業等での講座の 開催も進めていきます。		

基本戦略3 安心して暮らせる地域づくり

(2) 権利擁護の推進

取組名称	④ オレンジカフェ・ケアラズカフェ・家族会等の開催		
概 要	オレンジカフェ（認知症カフェ）やケアラズカフェ、家族会等の取組を通じて、支援を必要とする人を取り巻く環境の整備に努め、孤立防止やつながりの強化等に努めます。		
実施主体	令和6年度取組方針		
本庄市社協 本庄市 関係機関 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	地域包括支援センターの受託により、各種取組を通じて、認知症の人や家族が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	本庄西地域包括支援センター主催のオレンジカフェは令和6年度から2会場での開催となりました。認知症家族の会本庄やボランティア団体が行うケアラズカフェへの活動支援等を行いました。		A
	【オレンジカフェ実績】 ・本庄西包括主催18回（延べ345人参加） （参考：市内全域125回実施・延べ1,364人参加）		
令和7年度取組方針			
今後もオレンジカフェの開催や認知症家族の会本庄への参加等を通し、認知症本人やその家族への支援とともに、孤立防止に努めます。			

施策細目	(3) 更生保護の推進
<p>犯歴のある人の社会復帰への理解の促進を図るため、市民が社会的包摂の考えを深められるよう、様々な媒体や福祉教育の機会等を活用しながら意識の啓発に努めます。今後も、地域住民や団体等と協力しながら、更生保護の推進に取り組みます。</p>	

指標	現状値	目標値	令和				
	R 5年度/ R 4年度	R 10年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
生活福祉資金等貸付件数	39件/ 28件	28件	52件				
あんしんセーフティ新規利用件数【再掲】	22件/ 9件	12件	35件				
社協によるフードバンク支援件数【再掲】	324件/ 238件	240件	696件				

取組名称	① 社会的包摂の意識啓発		
概 要	様々な媒体や福祉教育の機会等を活用し、社会的包摂についての意識啓発に努めます。		
実施主体	令和6年度取組方針		
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	社協だより等の各種媒体及び福祉教育の機会を通じて、社会的包摂の意識啓発に努めます。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	社協だよりやホームページ、SNS等を活用した福祉教育などの啓発記事の掲載を行いました。また、年4回発行の社協だよりを全戸配布し、幅広い市民への社会的包摂に関する意識醸成に貢献しました。		A
	令和7年度取組方針		
	関係機関との連携を深め、持続可能な意識啓発の仕組みづくりを推進します。		

(3) 更生保護の推進

取組名称	② 更生保護団体との連携強化		
概 要	保護司会・更生保護女性会等に福祉情報の提供を行い、刑余者等への支援に努めます。		
実施主体	令和６年度の実組方針		
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和６年度 A 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和10年度	会議の場等を活用して、更生保護団体への福祉情報の提供に取り組みます。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	更生保護団体の定例会に参加し、保護司会に自立相談支援窓口業務の周知を行いました。		A
	令和７年度の実組方針		
更生保護団体へ福祉情報を提供して更生保護団体等との連携強化に努め、刑余者等の自立支援を促進します。			

取組名称	③ 更生保護活動への参加促進		
概 要	社会を明るくする運動や研修会等に参加して、市民に更生保護活動への参加を呼びかけます。		
実施主体	令和6年度の実組方針		
本庄市社協 本庄市 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	イベントや研修会等への参加を通じて、更生保護の推進に貢献します。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	社会を明るくする運動＆青少年非行防止合同街頭キャンペーンに、職員が参加しました。犯罪や非行の防止と、立ち直り支援への正しい理解を日常生活の中で考えるきっかけとなりました。		A
	令和7年度の実組方針		
	講演会や社会を明るくする運動等に参加して、啓発物品の配布等の周知・啓発活動への協力を継続します。		

(3) 更生保護の推進

取組名称	④ 福祉資金・生活福祉資金貸付制度		
概 要	臨時的出費または収入欠如により、生活が困窮している世帯の生活安定及び自立更生を図るため、必要な資金の貸付を行い、自立の援助に努めます。		
実施主体	令和6年度の実施方針		
本庄市社協 埼玉県社協 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	一時的に生活に困窮した世帯等に対する貸付制度の運用により、制度の狭間への支援を展開します。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	生活困窮世帯からの相談に応じ、相談者とともに状況を整理して利用可能な制度について検討を行ったうえで、必要な場合には資金の貸付を行い、対象世帯の生活の安定と自立の助長を図りました。 【貸付実績】 ・市社協貸付（33件） ・県社協貸付（19件）		A
	令和7年度の実施方針		
	自立相談支援窓口等の関係機関と連携して、生活困窮世帯からの相談に応じ、アセスメントに基づき貸付対応することを通して、対象世帯の生活の安定を図ります。		

取組名称	⑤ 彩の国あんしんセーフティネット事業【再掲】		
概 要	埼玉県内の社会福祉法人が連携して、生活困窮者を支援するため、状況に応じて経済的援助や就労訓練等を行います。		
実施主体	令和6年度の実施方針		
本庄市社協 社会福祉法人 【評価】 令和6年度 A 令和7年度 令和8年度 令和9年度 令和10年度	市内社会福祉法人との連携により、生活困窮者の制度の狭間の問題に対応するとともに、参加法人相互の連携強化に努めます。		
	令和6年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	他制度で支援が難しい方や、制度へつなげる間の一時的かつ緊急的な支援を市内社会福祉法人と連携して実施し、現物給付等の支援を行いました。 【支援実績】 ・新規（35件）継続（24件）／合計（59件）		A
	令和7年度の実施方針		
	自立相談支援機関や、社会福祉法人とのより一層の連携を図り、制度の狭間で困窮している方への支援を強化します。		

(3) 更生保護の推進

取組名称	⑥ フードバンク事業【再掲】		
概 要	助け合いの観点から個人・法人等より寄贈を受けた食品等を、必要とする団体や困窮世帯等に無償で提供し、個別に支援を行います。		
実施主体	令和６年度取組方針		
本庄市社協 社会福祉法人 【評価】 令和６年度 A 令和７年度 令和８年度 令和９年度 令和10年度	切迫した生活困窮者に食料支援を行うため、市民・企業・団体等に生活支援物資の寄附を呼びかけ、たすけあいの推進に努めます。		
	令和６年度実施結果		
	【具体的な取組内容・成果】		【自己評価】
	市民・企業・団体等へ広く呼びかけを行い、食品や日用品などの寄附を積極的に募りました。また、生活困窮世帯に対して、他制度利用までのつなぎとして食料支援を行いました。		A
	【事業実績】 ・協力企業及び団体（６５団体）個人寄附（１５９件） ・寄附物品総重量（3,574kg） ・支援件数（６９６件）		
	令和７年度取組方針		
生活困窮世帯へ緊急時等に速やかに支援が行えるよう、関係機関との連携を強化し、市民等へ寄附募集を継続していきます。また、新たな協力企業・団体の開拓と、より一層の周知活動に取り組み、支援の輪を広げてまいります。			